



くらしの中に

総務省

地方財政審議会説明資料  
平成28年11月22日(火)

# 「地域おこし企業人交流プログラム」 ～更なる地方圏へのひとの流れの創出に向けて～

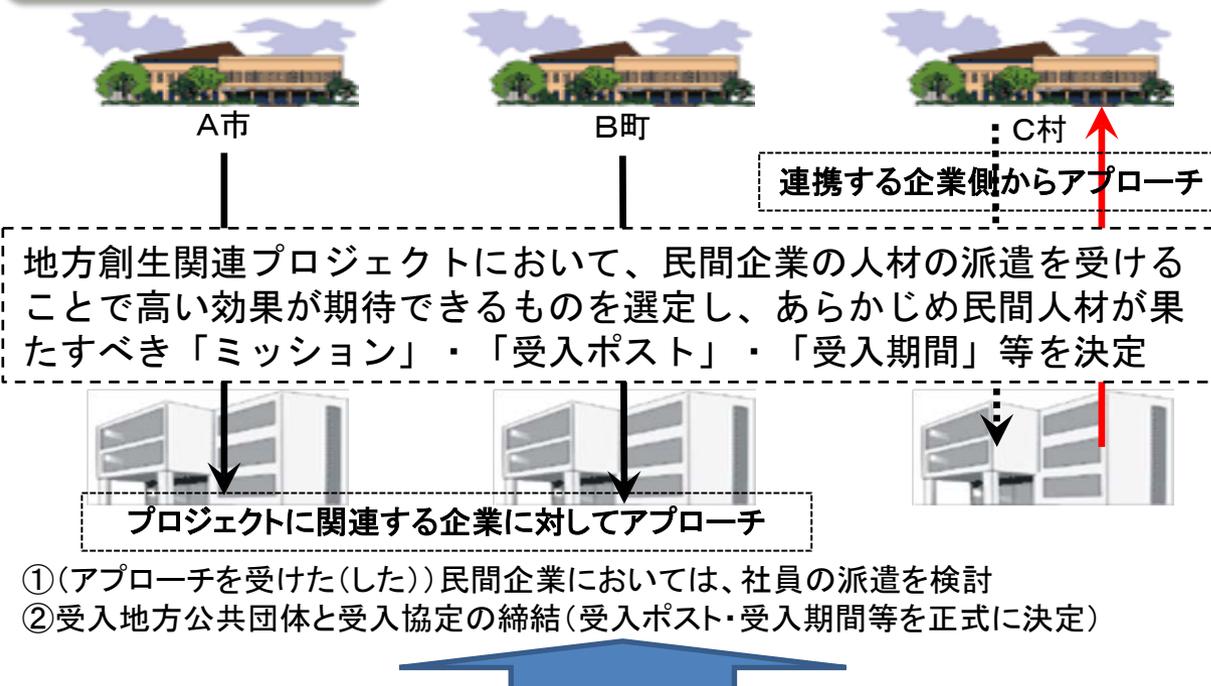
---

総務省地域力創造グループ  
地域自立応援課

# 「地域おこし企業人交流プログラム」の概要

三大都市圏に勤務する民間企業の社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間、地方公共団体において、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事することで、地方圏へのひとの流れを創出することを目指す

## 制度のイメージ



企業人の受入関係経費及び企業人が発案・提案した事業に要する経費については、総務省が一定の地方公共団体に対して財政措置を講じる



総務省

- 企業人の受入の期間前に要する経費  
上限額 年間100万円(措置率0.5)／団体
- 受入に要する経費 上限額 年間350万円／人
- 企業人が発案・提案した事業に要する経費  
上限額 年間100万円(措置率0.5)／人

## 【「地域おこし企業人」の活躍事例】

(ICT分野)

- ICTに関する専門知識や経験をいかし、環境への配慮と都市生活の快適さの両立を目指すスマートコミュニティ戦略の策定
- ICTを活用した高齢者生活支援・アクティブシニア活躍支援・健康増進事業

(観光分野)

- 観光分野の専門知識や経験をいかし、観光連携組織(DMO、観光協会等)との連携によるインバウンド対策・着地型旅行商品の開発・閑散期の誘客対策

(シティプロモーション)

- 営業の専門知識や人脈と経験をいかし、地域ブランドを大都市圏でPRし、多くの地域応援店舗を認定し、販路を拡大

(エネルギー分野)

- 再生可能エネルギーの専門知識をいかし、新産業及び地域雇用を創出

# 制度の更なる活用促進のための制度の見直し（案）について

## 【派遣元企業の要件】

資本金1億円を超えることが「派遣元企業」の要件  
⇒資本金要件を撤廃し、本年度から適用する

## 【企業人の要件】

出向時に三大都市圏※の本社又は支社に所属（勤務）する社員であることが「企業人」の要件（ただし、入社後2年未満の者は除く）

※埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重

県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の区域の全部をいう

※ 特別交付税措置の対象となる「活動地域」は、定住自立圏に取り組みむ市町村又は条件不利地域を有する市町村

⇒本社機能が三大都市圏に所在する企業については派遣時勤務要件を撤廃し、本年度から適用する

## 【派遣期間の要件】

「1年以上3年以内」の派遣期間であれば対象

⇒派遣期間を「6月以上3年以内」とし、本年度から適用する

## 【派遣形態や勤務条件等】

特段の要件なし（受入自治体と協定等を締結）

## （考え方）

○ 企業の規模及び業種を制限せず、幅広い企業から派遣を可能とすることで、地域課題の解消に相応しい人脈やノウハウ等をいかすことができる企業選択を可能とする。

## （考え方）

○ 派遣元企業が社内から人材を柔軟に選択可能な仕組みとする（一定の条件の下で派遣先又は近隣地に勤務する社員をそのまま派遣することもできることとする）。

○ 派遣期間内に最大限成果をあげることができるよう複数の派遣元からチームを構成した上で、複数名による派遣も可能としている。※

※同一の派遣元の場合、受入自治体1団体あたり2名までを算定対象としている。

## （考え方）

○ 短期プロジェクトへの支援など、より実態に即して派遣期間、派遣形態及び勤務条件等を柔軟に設定可能とする。

# 地域おこし企業人の活躍先

○地域おこし企業人28名 25市町村(平成27年度特別交付税ベース)※特別交付税措置の要件を満たしたものに限り

都道府県名	市町村名	人数	派遣元企業
北海道	厚真町	1	ワタミ株式会社
岩手県	陸前高田市	1	株式会社リクルートライフスタイル
宮城県	女川町	1	みずほ総合研究所株式会社
秋田県	仙北市	1	株式会社ANA総合研究所
山形県	戸沢村	1	近畿日本ツーリスト株式会社
山梨県	笛吹市	1	クラブツーリズム株式会社
滋賀県	彦根市	1	株式会社JTB西日本
兵庫県	洲本市	1	近畿日本ツーリスト株式会社
	豊岡市	3	楽天株式会社
			日本リファイン株式会社
			株式会社JTB西日本
	養父市	1	三井物産株式会社関西支社
朝来市	1	近畿日本ツーリスト株式会社	
奈良県	川上村	1	株式会社南都銀行

都道府県名	市町村名	人数	派遣元企業
島根県	津和野町	2	シャープ株式会社
岡山県	和気町	1	株式会社ベネッセコーポレーション
広島県	三原市	1	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社
徳島県	三好市	1	株式会社ANA総合研究所
香川県	高松市	1	ミズノ株式会社
高知県	四万十市	1	株式会社ANA総合研究所
佐賀県	伊万里市	1	株式会社近畿日本ツーリスト九州(本社扱い)
長崎県	五島市	1	株式会社JTB九州(本社扱い)
熊本県	天草市	1	株式会社ANA総合研究所
宮崎県	都城市	1	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
	小林市	1	株式会社エー・ピーカンパニー
鹿児島県	薩摩川内市	1	三菱重工業株式会社
沖縄県	久米島町	1	株式会社ゼネシス

# 地域おこし企業人交流プログラム～企業人活用事例（実績①）～

## 北海道旭川市

株式会社  
富士通システムズ・イースト

【所属課室】総合政策部政策推進課  
(平成25年4月1日任命、平成27年3月31日派遣終了)

【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】  
・システム設計やICT技術に関する知識・経験、ICT関連事業者との人脈を活かし、エネルギーの効率的な利用等による旭川市のスマート化の指針となるスマートコミュニティ戦略を立案、推進する業務

【企業人活用の成果】  
・民間企業の視点で、採算性や継続性にも配慮した「旭川市スマートコミュニティ戦略」の立案に貢献  
・地域コミュニティにおける「もみ殻バイオマス燃料利活用」による地域社会のスマート化促進など、戦略に基づいたプログラムの推進に貢献



## 北海道厚真町

## ワタミ株式会社

【所属課室】まちづくり推進課  
(平成26年7月1日任命、平成28年3月31日派遣終了)

【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】  
・食品小売りの経験を活かし、派遣元企業のノウハウを活用して特産品の販路を拡大する業務  
・地域資源を活かし、都会の子どもたちへ環境教育を行う自然学校を町と企業の共催で開催する業務

【企業人活用の成果】  
・イベントの告知と共に、都市部の方へ栽培面積日本一の「ハスカップ」の認知度向上に貢献



## 埼玉県秩父市

西武鉄道株式会社  
近畿日本ツーリスト株式会社

【所属課室】産業観光部 観光課  
(平成25年4月1日及び7月1日任命、平成27年3月31日派遣終了)

【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】  
・鉄道業、旅行業の経験を活かし、集客方法や旅行商品造成のノウハウを活用して収益事業や経済活性化へつなげることを目的とする業務  
・観光資源を生かし、着地型観光商品や民泊事業などを構築し、積極的にセールスを展開する業務  
・人脈を最大限活かし、西武鉄道(株)と共催した、「ちちぶ映画祭」や主要駅等でのキャンペーンを実施する業務

【企業人活用の成果】  
・収益事業を展開、一般社団法人を設立  
・旅行商品やイベント、ロケーションの誘致等により、交流人口(入込観光客)が増加



## 兵庫県洲本市

近畿日本  
ツーリスト株式会社

【所属課室】農林水産部農政課  
(平成27年1月1日任命、平成27年3月31日派遣終了)

【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】  
・1次産業をはじめとする市内の観光資源を活かした旅行・イベントの企画を行うとともに、広報・宣伝から当日の司会までマルチな活動を展開する業務  
・都市住民参加の下、玉葱定植・収穫体験や地域特産のしいたけの新メニュー開発等を行うなど、地域おこしや農業振興を推進する業務

【企業人活用の成果】  
・玉葱定植・収穫体験ツアーなどのイベント企画により都市住民の誘客を実現し、交流人口の増大に貢献



# 地域おこし企業人交流プログラム～企業人活用事例（実績②）～

## 香川県高松市

### 株式会社 リクルートライフスタイル

【所属課室】創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部 観光交流課  
(平成25年4月1日任命、平成27年3月31日派遣終了)

#### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・民間企業が有する情報や人的ネットワーク、外部からの視点を生かすことのできる観光事業を展開する業務

#### 【企業人活用の成果】

- ・代表的観光地である高松城跡・玉藻公園の濠に遊覧和船を導入し、観光地としての新たな魅力の創造に貢献
- ・食の魅力を発掘・発信して旅行者満足度向上を図るとともに、地元食材の流通拡大につなげるために讃岐の旬の食材を使った料理を提供する店舗を紹介するなど観光振興に新しい切り口から貢献
- ・WEB戦略やコンテンツ制作に関する職員研修に貢献



## 佐賀県伊万里市

### 株式会社 近畿日本ツーリスト九州

【所属課室】産業部 観光課 観光戦略室(伊万里市観光アドバイザー兼伊万里市観光協会 専務理事)

(平成25年10月1日任命、平成28年3月31日派遣終了)

#### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・旅行会社社員としての専門的な知見やノウハウを活用した観光施策事業を展開し、西九州自動車道の本市への延伸に伴う福岡都市圏等からの誘客促進を図る業務
- ・観光素材の洗い直しと磨き上げ、各種観光関連団体への助言を行う業務
- ・福岡都市圏、首都圏、札幌地区等の旅行会社に対するツアー造成にかかわる営業活動を行う業務
- ・募集型・受注型企画ツアー助成制度の創設、運用を行う業務

#### 【企業人活用の成果】

- ・団体ツアーの誘致に貢献 (送客実績 H26 12企画 5,200人/H27 45企画 5,500人)

## 宮崎県小林市

### 株式会社 エー・ピーカンパニー

【所属課室】経済土木部 商工観光課  
(平成26年5月1日任命、平成28年3月31日派遣終了)

#### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・農畜産物の魅せ方を学び、生産・流通システムの再構築を目指すとともに、新たな生産管理・流通システムの構築を目的とする業務
- ・1次産業活性化による販路拡大、商工業者との新たな協業形態を確立し、食産業におけるALL-WINを達成するとともに、市の経済発展だけでなく、雇用促進にも繋げていくことを目的とする業務
- ・小林市フードビジネス推進協議会を設立し、事務局を担当しデータ収集等を行い、各種団体とも連携した事業を推進する業務

#### 【企業人活用の成果】

- ・農畜産物の販路開拓による売上増に貢献
- ・広告宣伝事業参画によるイメージアップに貢献
- ・職員を対象とした人材育成研修に貢献



## 鹿児島県薩摩川内市

### 三菱重工業株式会社

【所属課室】企画政策部 新エネルギー対策課  
(平成26年4月1日任命、平成28年3月31日派遣終了)

#### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・派遣元企業での蓄電池設計・制御等の経験を生かし、市で進めている、甕島(リユース)蓄電池導入共同実証事業において、蓄電池等の知見を生かして事業の推進につなげる業務
- ・エネルギーの自給自足を目指した市エネルギーシステムの構築のために専門的なノウハウを活用して計画の策定を行う業務

#### 【企業人活用の成果】

- ・電力会社の系統への再生可能エネルギー接続制限等の問題の解決に貢献
- ・「市エネルギーシステムの構築計画」事業の推進に貢献



# 地域おこし企業人交流プログラム～企業人活用事例(任期中①)～

## 宮城県女川町

## みずほ総合研究所 株式会社

【所属課室】 産業振興課(平成27年5月1日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・金融機関における復興支援の経験をいかし、農業・水産業経営アドバイザーやコンサルティングのノウハウを活用して「まち・ひと・しごと総合戦略」の策定や、地域産業の活性化を推進する業務
- ・派遣元企業で培った人脈を最大限いかし、首都圏企業での催事開催や、ビジネスコンテスト等への地元製品の参加を推進する業務

### 【企業人活用の成果】

- ・水産加工工場整備における特区を活用した有利な資金調達に貢献



## 山梨県笛吹市

## クラブツーリズム株式会社

【所属課室】 産業観光部 観光商工課(平成27年10月1日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・ツアーガイドの養成経験をいかし、地域在住の考古学者が引率する笛吹市歴史探求ツアーを企画する業務
- ・WEBプロモーションを通じた旅行商品の販売経験をいかし、首都圏のWEB媒体者を誘致したエキスカッションを企画運営する業務
- ・地域資源である四ツ沢壺と甲府盆地の夜景をブランド化し、積極的に旅行社へPRする業務

### 【企業人活用の成果】

- ・適正な媒体者とのマッチングにより、外部からのアドバイスを蓄積することに貢献
- ・県外から600名を超える観光客を集客することに貢献



## 兵庫県養父市

## 三井物産株式会社

【所属課室】 企画総務部 国家戦略特区・地方創生課  
(平成26年10月1日任命)(平成26年度は同部企画政策課に所属)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・知識や経験、人脈をいかし、国家戦略特区専任コーディネーターとして養父市の国家戦略特区の推進を目的とする業務
- ・民間企業間の調整に関する業務及び新しい特区提案に関する業務

### 【企業人活用の成果】

- ・都市圏の企業と地元農業者の契約栽培を推進し、京阪神への販路開拓に貢献
- ・市と三井物産(株)との共同で、遠隔医療と無人飛行機を活用した医療サービスを内容とする「近未来技術実証特区」の提案に貢献



## 兵庫県豊岡市

## 楽天株式会社 株式会社JTB西日本

【所属課室】 環境経済部 大交流課  
(平成25年4月1日任命及び平成26年10月1日任命)

### 【派遣元企業のノウハウや語学力等を活かした業務】

- ・民間企業の戦略・戦術を活かし、観光行政にマーケティング手法を取り入れる業務
- ・Web戦略の経験を活かし、外国からのFIT(個人手配旅行)の観光客誘致へつなげる業務
- ・旅行代理店の目線で、体験メニュー実施者へのアドバイスを行う業務
- ・新たな観光まちづくり組織(DMO)の設立を支援する業務

### 【企業人活用の成果】

- ・DMO設立に向けての準備と機運醸成に貢献
- ・旅行代理店等への効果的なプロモーションに貢献
- ・英語版の観光向けホームページの開設やSNSによる情報発信により外国人観光客誘致に貢献



# 地域おこし企業人交流プログラム～企業人活用事例(任期中②)～

## 奈良県川上村

【所属課室】 地域振興課(平成27年4月13日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・ 銀行員の経験をいかし、経営のノウハウを活用して観光宿泊施設の経営の立て直しにつなげる業務
- ・ 地域資源を活用した宿泊観光プランの企画・立案を行い、地域の魅力発信を積極的に展開する業務
- ・ 派遣元企業で培った人脈をいかした営業活動を行い、観光交流人口の増加につなげる業務

### 【企業人活用の成果】

- ・ 宿泊客の新たな顧客を開拓し、売りにげに貢献
- ・ 15年ぶり宿泊観光施設の黒字化に貢献



## 株式会社南都銀行

## 香川県高松市

【所属課室】 文化・観光・スポーツ部 スポーツ振興課

(平成27年4月1日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・ 企業で培った専門知識、人脈を十分に活用し、高松丸亀町商店街活性化の業務(C街区(アーケード街)にて、トップアスリートによる棒高跳びパフォーマンス等)
- ・ 平成29年度竣工予定の屋島競技場に係るイベント事業を実施する業務

### 【企業人活用の成果】

- ・ 棒高跳びの公認競技が可能な「屋内競技場」を全国で初めて併設する同競技場の特色のアピールに貢献
- ・ 商店街の賑わいの創出に貢献



## 長崎県五島市

【所属課室】 観光物産課(平成26年2月1日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等をいかした業務】

- ・ 派遣元企業での実務経験をいかし、専門的なスキルを活用して魅力ある地域づくり、地域の元気創造につなげる業務
- ・ 地域資源(観光資源)を活かした旅行商品造成を各旅行会社に働きかけ、交流人口の拡大につなげる業務
- ・ 幅広い人脈を生かし、営業ノウハウの指導により職員のレベルアップにつなげる業務

### 【企業人活用の成果】

- ・ 新たな売り込み、働きかけ等により、旅行会社の商品造成が進み、観光客の増加に貢献



## 株式会社JTB九州

## 宮崎県都城市

【所属課室】 商工観光部 みやこんじょPR課(平成27年4月1日任命)

### 【派遣元企業の人脈やノウハウ等を活かした業務】

- ・ 営業の経験を活かし、新規開拓のノウハウを活用して、地域資源である「肉と焼酎」に主眼を置き、大都市圏の飲食店を都城市PR連携店\*として協定を結び、各店舗で都城市のPRを行い、認知度向上へつなげる業務
- ・ 人脈を最大限に活かし、派遣元企業での都城市物販フェアの展開や包括連携等、シティセールスの調整を図る業務

### 【企業人活用の成果】

- ・ 都城市PR連携店を1年目10店舗、2年目6月末で15店舗の計25店舗と締結し、各店舗とみやこんじょフェアを行うなど、認知度向上に貢献

\* 都城市PR連携店とは…都城市を応援いただく大都市圏の飲食店等を都城市PR連携店と位置づけ、本市の地域資源である「肉と焼酎」に沿って継続的にPRすることにより、本市の魅力大都市圏に浸透させ、認知度の向上と物産の販路拡大を図る。



## あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

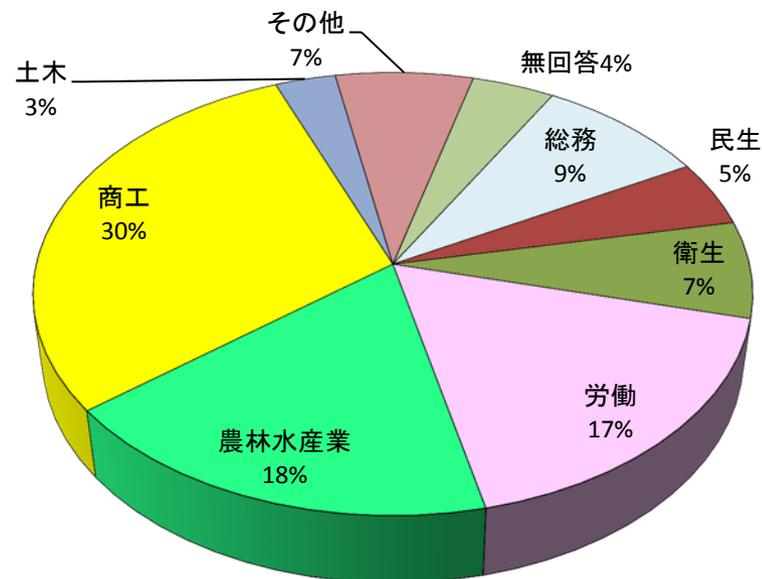
# 「地域おこし企業人交流プログラム」導入検討調査結果（平成27年度）

■ 調査対象団体数: 1, 158

調査回答団体数（「地域おこし企業人交流プログラム」を検討したいと回答した地方自治体数）: 163

## 【地方公共団体において民間企業の人材を活用したいと考えている事務分野】

総務（政策調整・行政改革・公有財産利活用等）	31	9%
民生（子ども子育て・福祉・災害対応等）	17	5%
衛生（保険衛生・環境（空き家対策等）等）	25	7%
労働（起業支援・雇用対策等）	62	17%
農林水産業（農業・畜産業・林業・水産業振興）	64	18%
商工（商工・観光等）	105	30%
土木（土木管理・道路橋りょう・河川・住宅等）	11	3%
その他	25	7%
無回答	15	4%
合計	355	100%



## 【地方公共団体において民間企業の人材の受入れする場合に希望する年齢等】

20代後半～30代前半	19	12%
30代後半～40代前半	26	16%
40代後半～50代	6	4%
年齢は考慮しない（人物本位で選考）	96	59%
無回答	16	10%
合計	163	100%

# 民間企業が本プログラムを戦略的に活用するイメージ

## 経営戦略のツールとして活用

### ○地域の潜在的資源を掘り起こす

・行政と連携することにより、国内外の旅行者を引きつける価値のある潜在的な観光資源を掘り起こすことで、当該地域に民間の活力をいかした観光事業を立ち上げる。

### ○課題最先端地域との連携による新たな価値を創造する

・行政と連携し、課題最先端地域の住民と協力することで新たなビジネスモデルを構築する。

## 経営改革のツールとして活用

### ○人材流動性を高める改革を実現する

・専門的なスキルや幅広い人脈を持ったシニア人材と、これらの人材を求める地域とをマッチングすることで、シニア人材の新たなライフステージの発見につなげる。

・行政と連携することにより、社内外での人材流動性を高めることで、人員調整や機動的な人員確保が行われやすくなる。

戦略  
人材

改革  
貢献

## 人材力強化のツールとして活用

### ○社員の人材力強化する

・社員が行政の肩書きを有することで、その地域に関連する様々な分野の人々と交流し、人脈を構築することができるなど、社員の研修の一環として、また、派遣終了後のキャリアアップ等のツールとして活用する。

・社員の事情等に対応し二地域就業を実現することで有能な人材を確保する。

## CSRのツールとして活用

### ○地域に貢献する

・企業を取り巻く顧客や従業員といった、ステークホルダーからの期待やニーズに答えるために、企業戦略として人材を派遣することで地方創生に貢献する。

# 「地域おこし企業人活用戦略セミナー」の開催

三大都市圏に所在する民間企業の社員が、そのノウハウや知見を活かし、地方公共団体において、地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に従事することで、地方公共団体と企業が協力して地方圏へのひとの流れを創出する「地域おこし企業人交流プログラム」の今後の展開について議論を深める。

## 開催日時

平成28年**11月7日**(月) 午後1時30分～午後5時

**プログラム (概要)** ※情報交換会 午後5時30分～午後7時

開会あいさつ 総務省地域力創造審議官 時澤 忠 氏

基調講演「地方分散で変わるインバウンドビジネス」

株式会社 JTB総合研究所 執行役員 黒須 宏志 氏

「地域おこし企業人交流プログラムの今後の展開について」

総務省地域自立応援課長 山越 伸子 氏

(派遣元企業及び派遣経験者事例報告)

・(株)リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター長

沢登 次彦 氏

・(株)リクルートライフスタイル事業創造部 じゃらんリサーチセンター

東北チームリーダー エリアプロデューサー 関 陽平 氏

(地方自治体及び派遣経験者事例報告)

・豊岡市長 中貝 宗治 氏

・楽天(株)地域振興事業部 地域振興第三営業グループ

佐藤 暢祐 氏

閉会

## 【開催実績】

- セミナー来場者 : 民間企業等関係者 約100名  
地方公共団体関係者等 約80名
- 情報交換会出席者 : 民間企業関係者 36名  
地方公共団体関係者等 36名



セミナー(上)及び情報交換会(右)の様

